

# Progress Report

平成 29 年 2 月 25 日  
株式会社 長 大 (文責)

## カウンターパート機関らと中間報告会を開催 バイオトイレ「Bio-Lux」と新浄化装置「Bio-Lux Water」の有効性を確認すると共に、普及展開に向けた協議を実施

正和電気株式会社（以下「正和電気」）は、2017年2月22日～23日にカウンターパート機関であるクアンニン省人民委員会天然資源環境局並びに計画投資局らと、またバイオトイレや新浄化装置を設置した一般家庭を含めたコミュニティと、2014年度補正予算中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～の中間報告会をクアンニン省ハロン市やヴァンドン島において開催しました。

正和電気が有するバイオトイレ Bio-Lux（20台）、新浄化装置 Bio-Lux Water（11台）を対象地域であるクアンニン省のハロン市やヴァンドン島に導入し、これら製品の有用性及び優位性について確認・分析の為、実証試験又普及活動を2016年3月より実施してきました。本報告会は、①カウンターパート機関並びに現地住民に対して、これまでの進捗状況、成果・課題の共有、②持続可能な分散型排水処理システムの検討に関わる協議、③カウンターパート機関とバイオトイレ及び新浄化装置を導入するために必要な制度、資金スキームに関する協議を目的として開催されました。

これまでのところ、クアンニン省に設置されたバイオトイレ及び新浄化装置は問題なく運用されていると共に、周辺環境や衛生環境の改善効果が確認できたなどの肯定的な意見が出た一方で、今後の事業化を見据えた場合、現地側で円滑に維持管理作業を実施するために、現地企業等への技術指導の必要性などについても意見が出されました。さらに、カウンターパート機関より、クアンニン省における下水処理整備計画や環境分野での新たな投資計画などの情報提供もあり、クアンニン省の持続的な発展に貢献するためどのようなアプローチが必要か協議を行いました。

本事業は2018年5月に完了する予定ですが、今後は実証試験の結果を踏まえ、クアンニン省における分散型排水処理システムの普及展開計画の策定を進める予定です。



中間報告会の様子